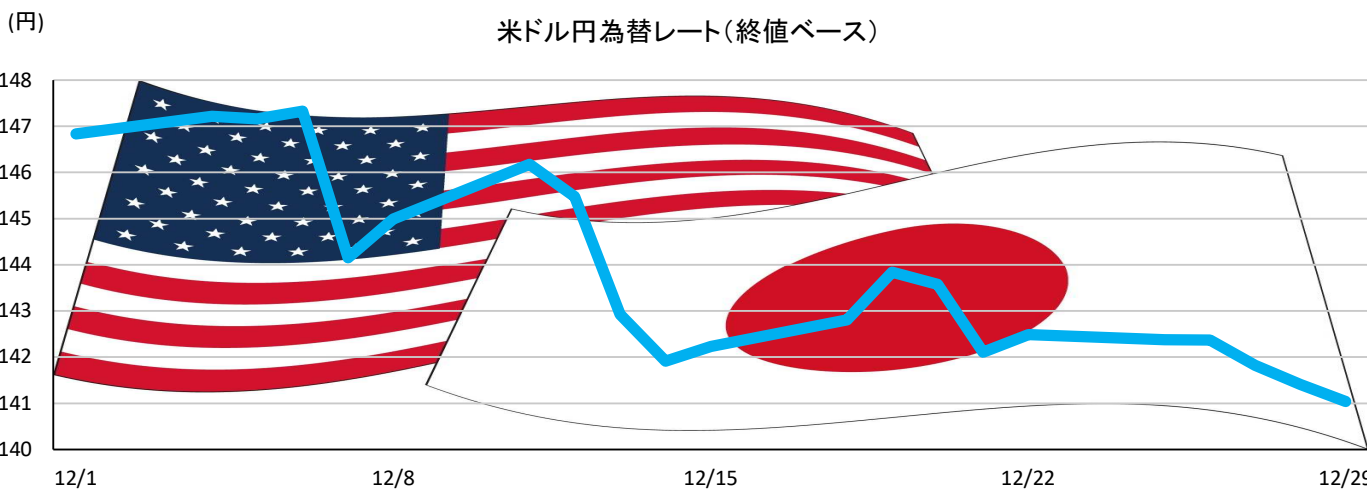


## MONTHLY REPORT

**先月の振り返り：**12月のドル円相場は148円半ば～140円前半で推移。植田日銀総裁の、「年末から来年にかけて一段とチャレンジングとなる」との発言が伝わり、早期の金融政策転換を警戒した動きが急速に広がり141円台まで円高が進行。ただ急落に対する買戻しの動きや良好な米雇用統計等を受けて146円台まで持ち直していたが、米FOMC後の会見でパウエル米FRB議長が利下げについて言及したことでドル全面安となり、約5ヶ月ぶりに140円台に突入。その後は米小売売上高が市場予想を上回ったことや日銀金融政策決定会合で金融政策現状維持を確認し円安ドル高が進んだものの、米経済指標が軒並み市場予想を下回ったことで再びドル売りが強まった。



## MARKET REVIEW

**原油供給：**今回OPECプラスを見ていきたい。現在、協調減産を継続し供給を抑えることで市場価格の安定を目指しているが、協調減産の影響もあり2023年の供給シェアは約51%まで低下する見通し。逆に米国などOPECプラス以外の産油国は増産傾向となっており、世界需要が増加する中でシェアを奪われた格好だ。これまでも減産に反対しOPECプラスから脱退する国はあったが、今後も減産を継続すると自国経済のために脱退に踏み切る国が出てくる可能性がある。ただ減産緩和に踏み切ると供給増から価格低下を招くため、難しいかじ取りを迫られていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
1 / 17 (水)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
1 / 23 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
1 / 25 (木)	22 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
1 / 25 (木)	22 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
2 / 1 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
2 / 2 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
2 / 13 (火)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆